取　組　事　例

【所定外労働削減・年休取得促進・女性活躍・若年雇用・賃金引上げ】

企業名	川瀬建設株式会社
所在地	松本市奈川２３２７
事業内容	総合建設業
労働者数	２８名（男性２６名　女性２名）

シンプルこそワーク・ライフ・バランス。Ｉターン女性や「奈川」を愛する地元の子が選ぶ、自然で人間らしい働き方。年次有給休暇取得率は１００％。

きっかけと目指すゴール

川瀬建設は、松本の市街地から車で１時間、旧奈川村の中心部にある。従業員の半分は周辺地域から、半分は市街地から来る。仕事は会社の周辺の公共工事が中心。公共工事の元請け企業として、災害対応やインフラメンテナンスを行っている。

川瀬雄一代表取締役　　久富局長

建設業の人手不足と山間過疎地域の若者流出の中で、昭和 35 年創業の地域のインフラを支える企業として、I・U ターンの受け入れに 20 年前から取り組んで来た。入社後の定着は良いが、「松本市で一番遠方にある建設会社」という立地のため、人材の確保が難しい。いよいよ従業員の高齢化に伴い、２年前から働き方改革や女性の登用にも力を入れ始めた。

業界に先駆けて週休２日制を導入、計画的に休むことで業績アップ

現在の建設業の人不足対策は、国や業界を挙げての取組でもある。公共事業での週休二日を前提とした工期の設定がなされため、2021 年４月から隔週土休みを完全週休２日制に変え、社長から「しっかり休んで、しっかり働こう」と従業員に呼びかけた。作業日数がひと月近くも減る不安もあったが、結果的に作業効率が向上し、賃金アップ、業績連動賞与でも還元できた。確実に連続して休めることで疲労回復がしやすくなり、従業員の心身の負担が減った。

地域のインフラを支える仕事

ワーク・ワイフ・バランスは、企業規模が小さいことがメリット

毎朝夕に社長は各従業員と顔を合わせる機会が確保されているため、従業員の一人ひとりの様子がわかる距離感。各現場は５人前後のチームで担当し、全ての現場の進捗状況を常務が把握、年次有給休暇（以下「有給」）の取得窓口も常務のため、全体の作業の進捗をみてチームを越えてバランスを調整している。

負担が大きい現場には、応援がつくので安心して休みやすい。主任技術者や現場代理人はもとより、全員がある程度の作業日程を共有しているため、自ら休みやすい日を休み、逆に常務もどうしても出て欲しい日をお願いしやすい。

社長や常務の方針がしっかり浸透し、コミュニケーションが取れているため、若者や女性だけではなく、50 代～60 代男性も「病院に行きたい」などと安心して有給を 100%消化する。週休２日と有給取得 100%で、作業日数は減ったが、逆に一人ひとりが自主的に考えるようになり、全体の効率はよくなった。

制度と実績	
平均残業時間	月７時間
年次有給休暇取得率	１００%
新卒・中途採用者の３年以内の定着率	100%（３人/３人）
女性管理職　（短時間勤務利用中）	１人

自社の女性課長から、建設業界のイメージを変えたい

建設業と言っても実態は職種や企業により様々であり、公共事業の元請け業務中心の川瀬建設では、現場で作業を行うだけではなく、現場管理業務も行う。このため、協力会社等の関係間の連絡・調整や提出書類の作成などの事務的な作業も多い。今後、女性労働者の雇入れを考慮し、「建設ディレクター」という書類作成を中心とする中間職種を用意し、建設現場で働くことに抵抗があるという人もチャレンジできるように準備している。

独身や夫婦でI・Uターンに利用できるような寮もある。吉本総務課長は 2021 年に中途採用されたIターン組で、建設業界未経験の女性で、さらに短時間勤務中でもある。自らの異業種からの転職の気づきを通して、I・U ターン者を惹き付ける地域の建設業の情報を発信したいと考えている。

労働局の「ユースエール」認定と「えるぼし」認定を W 取得したのもそのひとつ。女性でも地域で安定して働ける建設業、自然豊かな山間部での仕事は、むしろ魅力でもあると語り、自身も会社のバックアップで建設関係資格取得の勉強中でもある。

取材時の様子

近所で育った従業員の子が、「奈川が好きだから、ここで働きたい」と自ら門戸を叩いて来た。次世代へ確実につながっている。

訪問日	令和６年２月１３日（火）
面談者	川瀬建設株式会社 代表取締役　川瀬　雄一 氏 常務取締役　奥原　次男 氏 総務課長　吉本　紀子 氏
訪問者	長野労働局 局長　久富　康生 雇用環境改善・均等推進監理官　五味　賢二 指導係長　野口　綾子 働き方・休み方改善コンサルタント　平野　正樹

建設業や奈川地域ならではの、働きやすさと魅力を実感できました。
＊＊＊川瀬建設株式会社の皆さま、ありがとうございました＊＊＊

ユースエールとえるぼしを同時にＷ取得した「県内唯一の企業」

五味監理官　奥原常務取締役　川瀬代表取締役　吉本総務課長　久富局長